事業番号	11 09 01	事業改善シート(28年度実施事業分) □予算要	要求	口当初予算案	□補正予算案 ■点検
事業名	県営住宅『5R』プロジェクト推進事業			部局	建設部
* * 1				課·局·室	建築住宅課公営住宅室
総合5か年 計画	プロジェクト	-	当課	E-mail	jutaku@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 3ゆとりある住環境の形成			
		6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 4社会的援護の促進	DI A	実施期間	H28 ~
人口定着・ 確かな暮ら し実現総合 戦略	信州創生の基本方針	1-3 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造			
	施策展開	1-(1) 結婚・出産・子育ての支援 イ 出産・子育ての安心向上 1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減			

事業の概要

・「県営住宅プラン2016(改訂版「長野県公営住宅等長寿命化計画」)」の実現のため、県営住宅ストックの有効活用と長寿命化及び居住環 境の改善を図る「県営住宅『5R』プロジェクト※」を推進し、居住者の安心で安全かつ快適な暮らしを実現する。 目指す姿

・各地域の需要を踏まえて県営住宅の集約・コンパクト化を進め、管理の効率化を図る。

(※Renovation、Reform、Renewal、Reconstruction、Restructuringの5つの頭文字R)

現状 (予算編成 時)

・県営住宅は県民の住宅セーフティーネットであり、老朽化した県営住宅の環境を整備することは重要

・昭和40年代に建設した大量の低層住宅は老朽化に伴い居住環境が悪化し、今後、耐用年限を経過する住宅が更に増加することから、速 やかな改善が必要(管理戸数15,321戸(H27.4.1現在)のうち3,817戸(24.9%)が耐用年限経過)

・空き家と高齢世帯の増加は、自治会活動など地域コミュニティに支障が生じるとともに防犯上も問題

県が関与 する理由

成果目標・ 事業内容

【左記の説明、根拠法令等】 県でなければ実施不可(法令等義務)

公営住宅法、長野県住生活基本計画 県民との協働による実施: 実施中

① 成果目標(H28)

「県営住宅5Rプロジェクト」による5年間の施策展開に基づき、以下の事業を推進

- ・古いタイプの県営住宅を子育てしやすい住宅にリノベーションするため、モデルプラン(2タイプ)を開発 ・中高層住宅へのバスリフォーム(228戸)等により、居住環境の向上及び長寿命化を推進
- ・老朽化した住宅の建替え(建設着手2棟42戸、実施設計1棟)及びリニューアル(21戸)により、居住環境を改善
- ・老朽化した低層団地の集約による居住環境改善を図るため、144戸の集約移転を促進
- ・3団地16棟108戸の除却により、安心安全を確保及び管理費を削減

② 事業内容

(単位:千円)

項目	実施方法	1100事業中建	H28事業実績		H28	
	夫旭万伝 F120 李未夫禛			(当初)	(決算)	(当初)
"住みたくなる"県営住宅リノベーションモデル事業	委託	モデルプランの募集、審査及び実施設計(2タイ	2タイプ) 1,911 1,668			18,399
リフォーム(入浴設備)事業	委託	入浴設備のない住宅へのユニットバス等の設置 中高層2,596戸)	1(249戸、対象	423,940	1,911 1,668	
建替え・リニューアル事業	直接委託	老朽住宅の建替え(1棟21戸の建設着手、実施集会所1棟の建設協定締結)及びリニューアルフォーム21戸、H25から実施の1団地112戸のう	439,685	307,831	1,168,231	
集約·移転促進事業	直接 委託	大規模な低層住宅団地の集約化修繕及び移転 規模な団地からの移転促進(112戸)	云(53戸)、小	128,019	96,756	147,314
電気幹線改修事業	委託	昭和40年代に建設された住宅の電気幹線等の	改修(46戸) 0 16,6		16,612	0
住宅老朽空家除却事業ほか	直接 委託	管理上・防犯上問題となっている老朽化した空家14棟48戸の 除却(対象1,941戸)ほか		253,946	87,764	190,437
			合計	1,247,501	903,009	1,896,761

	₽	ζ	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度
		前年度繰越		32,092	68,651	12,034
	予 算 額		当初予算	805,527	1,247,501	1,896,761
事			補正予算	-4,173	-315,652	
業		合計(A)		833,446	1,000,500	1,908,795
未			一般財源	484,769	286,488	255,783
⊐	Aσ.	′ ∟	県 債		262,000	873,000
ス	財派	京	国庫支出金	348,677	452,012	765,356
			その他	0	0	14,656
۲	決	拿	算 額(B)	734,691	903,009	
	概 算 職員数(人) 人件費 概算人件費 (C) 概算事業費(B(A)+C)		職員数(人)	5.50	8.00	8.00
			概算人件費 (C)	45,518	63,312	63,312
			780,209	966,321	1,972,107	

成果日標の達成状況								
項目	H26末	H27末		H29				
供日	П20Ж	Π21 / Λ	目標	成果	達成状況	目標		
リフォーム (入浴設備)	118戸 (進捗率 5%)	237戸 (進捗率 14%)	228戸 (進捗率 22%)	249戸 (進捗率 23%)	達成	213戸 (進捗率 31%)		
リニューアル (1団地)	26戸 (進捗率 38%)	28戸 (進捗率 63%)	21戸 (進捗率 82%)	21戸 (進捗率 82%)	達成	20戸 (進捗率 100%)		
建替え	_	_	42戸着手	21戸着手	未達成	57戸着手		
集約·移転	1	75戸 移転	144戸 移転	165戸 移転	達成	173戸 移転		
老朽住宅除却 (H27耐震対策)	24戸 (前計画)	64戸 (進捗率 3%)	108戸 (進捗率 9%)	48戸 (進捗率 6%)	未達成	77戸 (進捗率 10%)		

出田口挿の海出生に

目標に対 する成果 の状況

・リフォーム及びリニューアルは、入居者の理解も得て順調に目標以上に進めることができた。・建替えは、建設予定地の除却工事の入札不調による全体工程の遅れにより1棟21戸の着手ができず、目標に対して未達成となった。

・集約・移転は事業に対する入居者の理解も進み、目標以上に進めることができた。

・老朽住宅除却については事業計画の見直しにより、一部先送りとした

今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

県営住宅プラン2016の実現のため、未達成事業について平成29年度に着手するよう事業計画の見直しを行い、継続して県営住宅「5R」ブ ロジェクトを推進し、安心・安全で快適な暮らしの確保に努めていく。